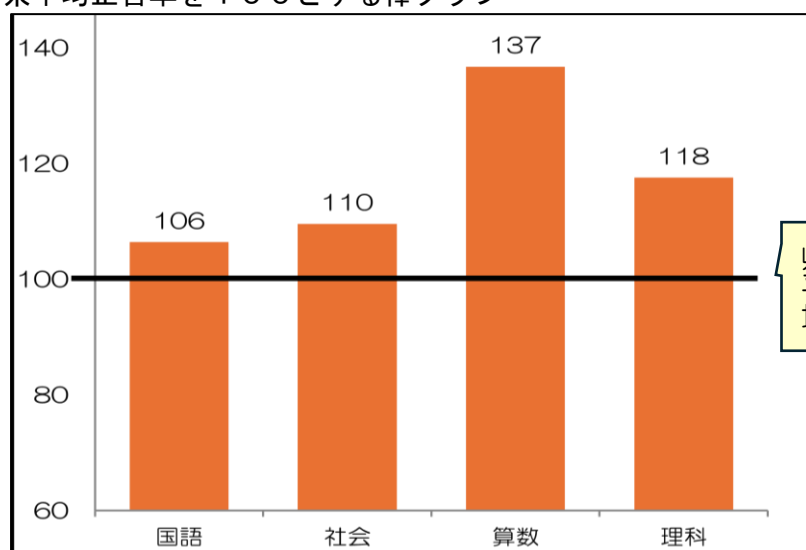


令和7年度鹿児島学力・学習状況調査の結果について（報告）

1 県平均正答率を100とする棒グラフ



県平均



四教科とも、鹿児島県の平均正答率を上回っていました。特に算数では、基礎的な知識・技能は、しっかりと身に付いていることが分かりました。

2 学習状況調査の結果から分かったこと（○：成果，●：課題）

- 学校生活への満足度が非常に高い。
- 先生や友達との信頼関係が厚い。
- 友達と協力して話し合ったり，考えあったりする活動への意欲が高い。
- ICT機器（タブレット等）を活用した授業にやりがいを感じていない子供が多い（特に算数では顕著だった）。
- 家庭学習でICT機器（タブレット等）を活用する頻度が低い。
- 平日の読書量が少なく，読書習慣に大きな個人差が見られる。

3 各教科における学力面の成果と課題

(1) 国語 <ul style="list-style-type: none">○ 基礎的な知識や技能，語彙は身に付いている。● 情報を論理的に組み立てて書く力が身に付いていない。	(3) 算数 <ul style="list-style-type: none">○ 基礎的な知識や技能が身に付いている。考えて問題解決する活動への意欲も高い。● 解き方を筋道立てて説明する力や，割合の意味を考える力が身に付いていない。
(2) 社会 <ul style="list-style-type: none">○ 基礎的な知識や技能が身に付いている。特に資料から情報を収集する技能が高い。● 収集した情報を関連付けて考え，まとめる力が十分に身に付いていない。	(4) 理科 <ul style="list-style-type: none">○ 基礎的な知識や技能と，知識を生かして考え合う力が身に付いている。● 考えたことや分かっていることを整理してまとめる力が十分に身に付いていない。

4 今後の授業改善に向けて

- (1) 話し合っ解決する活動に意欲的な強みを生かして，事実やデータをもとに根拠を明確にしなが説明し合う活動を各教科の授業に位置付けていきます。
- (2) 話し合いの中で，分かりやすく説明するための「型」を意識させ，分かりやすく説明する力を少しずつ高めていきます（「型」を教え込むのではなく，実践的に習得できるようにします）。
- (3) 目に見えない事柄を「見える化」できることがタブレットPCのよさの一つです。このよさを実感できるように，考えを説明し合う活動の中でタブレットPCを活用するようにします。